

【専門研修の課題について】

1 課題書式

A4判縦長，横書き両面印刷1枚程度（上下左右余白20mm，1行文字数45字，行数は自由，資料等については過度の縮小を避ける）

受講番号（8桁）のみを記入し，学校名・氏名は記載しない。

2枚以上の場合は綴じる。

受講番号は，受講可否通知にてお知らせします。ただし，5年経
験者研修対象者は，5年経験者研修の受講番号を使用します。

平成31年度 ○○-○ ○○○講座○○○○コース研究協議資料

テーマ	○○○○○○○○○○○ - (副題) -
1 ○○○○	章立て
2 ○○○○	
3 ○○○○	
4 ○○○○	
⋮	

班名は，事前に指示があった場合のみ記入する。

個人情報の取り扱いに十分留意し，特に幼児児童生徒の個人名及び男女の区別は記載しない。

2 課題一覧（課題の作成及び送付に当たっては，必ず「1 課題書式」及び「3 送付先」の指示に従ってください。）

講座名	テーマ	章立て	提出期限(必着)部数	講座当日持参部数
53-A 国語科講座 小中学校コース	習得と活用を明確にした「読むこと」についての実践報告書 ※実践報告書(過年度実践可)	1 単元名と実践学年 2 単元目標 3 単元の評価規準 4 指導と評価の単元計画 5 本時の指導 6 単元の目標達成のために行った手だてや工夫 7 成果と課題	7月4日(木) 3部 ※講師送付用	8月9日(金) 35部
			【課題作成上の留意事項】 ※章立て変更可 ※何を習得させ，どのような活用の場を設定したか，分かるように記述する。	
53-B 国語科講座 高等学校コース	学習領域「読むこと」の指導の工夫 I 指導の工夫について協議するため，指定された教材(☆)について「読むこと」の「単元案・指導案」を作成する。 II 「バグダッドの靴磨き」(米原万里)において，何を教えたいかについて検討するため，事前に本文を読み，考える。 (Iについては，要提出，IIについては，提出不要)	I の「単元案・指導案」の様式は，『授業の手引き(高等学校国語科 平成27年度版)』の「単元案・指導案例」を参照する。 総合教育センターウェブページのトップページにある「教科・領域」の「国語」→「授業の手引き(高等学校国語)」→「単元案・指導案例」からダウンロードする。 ☆教材は，『夢十夜』(夏目漱石)の「第一夜」または「第六夜」のいずれかとする。	7月5日(金) 4部 ※講師送付用	8月19日(月) 45部
			【課題作成上の留意事項】 I 言語活動と評価に焦点化して協議するため，活動と評価の工夫について具体的に発表できるような案を作成する。 縦書きで記載する。 指導者の欄には，受講番号を記載する。 添付資料も含めすべてA4判とする。 複数枚となる場合は両面印刷とし，右肩を綴じる。 II 「バグダッドの靴磨き」については，以下の教科書・書籍に収録されている。当日持参する。 ○「新編現代文A」 ○「現代文B」 ○「標準現代文B」(以上 第一学習社) ○「それでも私は戦争に反対します」(平凡社 日本ペンクラブ編) ○「米原万里ベストエッセイI」(角川文庫)	

3 送付先

〒470-0151

愛知県東郷町大字諸輪字上鉾68番地

愛知県総合教育センター研修部企画研修室

<input type="checkbox"/>	470-0151	愛知県東郷町大字諸輪字上鉾六八番地
		愛知県総合教育センター
	研修部 企画研修室	
	行	
「○○講座」		
「○○コース課題」		
在中		

必ず朱書きしてください。

※郵送料削減のため、他の研修・講座で来所する同所属の教職員による直接提出についても受け付けます。この場合は、研修部企画研修室（総合教育センター本館4階）へお越してください。